

高橋 美博 議員

道路・橋梁アセットマネジメント導入の考えはないか

Q 問 これからは道路の建設だけでなく、維持管理に重点を置き、総額で節約する視点が必要となる。点検の実施とそのデータ蓄積はどのようになっているか。

A 答 道路等の点検は、昨年度幹線道路を中心に舗装面の調査を実施した。このデータをもとに、舗装、補修、緊急度を4段階に分け、舗装補修計画を策定した。今後は、傷む前に直す予防的な対応で長寿命化やコスト削減を図り、計画的に予算措置をしていきたい。

Q 問 舗装の本格改修などの判断とその予算化はどうか。

A 答 交通量の増加や舗装面の劣化により、舗装面がカメの甲羅状になり、穴があいてしまう箇所が多く見られる。これらについては、局部的な補修を行うとともに、舗装

補修計画に基づき本格的補修を実施している。

Q 問 橋梁カルテ作成のため、橋梁診断実施の考えがあるか。

A 答 どの橋梁をいつどのように修繕するかをまとめるためのものであり、修繕していく上で必要な作業のため、実施していきたい。



道路補修工事の様子

伊豫田 貞雄 議員

市税等収入未済額整理に向けて

Q 問 市税等収納対策本部による滞納推進月間の成果は。

A 答 11月10日～28日に全庁挙げて滞納整理を実施した結果、対象金額1億4,140万円の40.8%に当たる5,760万円の成果があった。

高齢者福祉タクシー導入の考えは

Q 問 自主運行バス空白地に高齢者福祉タクシー導入の考えは。

A 答 福祉タクシー制度は、該当する人としていない人との区分けが難しく、不公平な面が出ることもある。このため、自主運行バスの継続を現時点での結論にしているが、現状十分な効用を果たしているとはいえず、何らかの是正が必要と考えている。

保育所新設の構想は

Q 問 待機児童解消に向け保育所新設の構想はどう考えているか。

A 答 新設保育所については、建設場所は袋井北地区、定員は120人程度を想定している。平成22～23年度で設計・建設をし、平成24年度の開園を目指しており、民営を想定している。



自主運行バス「フーちゃん号」